

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
1-⑥	活発な市民の交流を促進する	企画政策部、市民部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31年度
			27年度	28年度	29年度	30年度	
友好都市物産展来場者数（年間）	人	19,123	16,601	13,217	12,349		19,500
国際交流事業参加者数（年間）	人	4,732	4,762	3,173	4,582		5,000
市民・大学交流委員会主催の事業数（年間）	事業	14	12	13	13		16
関連事業							
○国際交流活動推進事業○外国籍市民交流推進事業○友好都市交流推進事業○多文化共生推進事業 ○市民・企業・大学等交流事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費（千円）	6,776	5,241					
執行率（%）	84.78	86.19					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>●姉妹都市や高山市を始めとする友好都市市民に本市の魅力を紹介するとともに、物産展では「中学生の物産展お仕事体験」を初めて実施する等、交流を深めました。</p> <p>●外国籍市民及び市民主体の国際交流フェスティバルを実施したほか、日本語教室を開催し、日本語だけでなく日本の文化や習慣への理解を促したことにより、相互理解が深まりました。また、外国籍市民等が母語で相談できるよう外国籍市民相談窓口へ通訳ボランティアを派遣するなど、外国籍市民が暮らしやすい環境づくりに取り組みました。</p> <p>●平塚市民・大学交流委員会の文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光の5つの推進部会における13の事業を通じて、相互の交流が活発に行われるとともに、新たな事業に障がい児者とその家族と大学生が一緒に参加できるレクリエーションを加えることで、多様な市民の社会参画を促進しました。</p>							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>●市民ニーズの多様化、少子高齢化が進む中、より多くの市民が積極的に交流事業に参加できるよう、各友好都市の意向を確認しながら既存事業の見直しを行う必要があります。</p> <p>●グローバル化が進む中、増加する外国籍市民に対し、異なる文化への理解がより必要となっけています。また、外国籍市民への支援として、通訳・翻訳等ボランティアの人材育成や災害時における安全確保を図る必要があります。</p> <p>●市民、企業、大学等の交流を更に促進するため、より多くの市民等の参加を得る必要があります。</p>	<p>●各友好都市の意向を踏まえて、小学生交流・スポーツ交流・産業交流を継続し、事業内容を見直しながら、相互理解と友好親善を深めていきます。</p> <p>●市民主体の魅力ある交流イベントや日本語教室を引き続き開催し、相互理解を深めます。また、研修会等を開催するなど、通訳・翻訳等ボランティアの育成に努めるとともに、外国籍市民への災害時の支援手順及び情報提供等について具体的に記載して内容を充実するため、災害多言語支援センター運営マニュアルを改訂します。</p> <p>●交流事業を担う「平塚市民・大学交流委員会」と平塚市が連携・協力しながら、事業の実施結果や時代のニーズを踏まえ、事業内容の見直しや多様な人材が参加、活躍できる事業の展開を図ります。</p>